

# 78回『謳粹会』の記

会長 篠田 康

開催 日時 平成17年2月11日(金)  
場所 酒蔵見学 小川町『晴雲酒造』  
食事 小川町『永徳屋』

将来は、酒蔵見学会なども開催したい、と言ったのは、『謳粹会』の最初の幹事会の時でした。あれから六年半、この度、やっとその実施をすることが出来ました。皆様のご都合も考えて開催日にも苦慮しましたが、2月11日建国記念日の祭日に行くことになりました。

以前に何度か話は出ましたが、実際、実施することに決まったのは、昨年10月の幹事会の時で、先ず候補に上がったのが小川町の「晴雲酒造」でした。ここは、池袋から75分という便利さもあって、早速、蔵へ連絡を取りました。土日祭日、何時でも結構ですということでした。次に食事の場所ですが、ここは駅前の通りに有名な「女郎鰻」の『福助』と「忠七めし」の『二葉』が並んでおり、『二葉』に連絡をすると、パンフレットや案内書をいろいろ送ってくれました。十一月には『五右エ門』の会場で内容を披露し、十二月に入り、東武池袋の地酒祭りで、「晴雲酒造」のご子息の健太郎さんに会い、蔵見学のお話をして「何処か適当なお食事処はありませんか」と尋ねると、『二葉』や『福助』もいいですが、少し堅苦しいので、それよりも、蔵の直ぐ近くに『永徳屋』という老舗の割烹がり、ここなら、料理もサービスも良いというので、食事はそちらへお願いして頂くことにしました。

新年会を前にして、一月十日の成人の日に、見学会に遺漏のないようにと、小川町に現地踏査に参りました。9:10分池袋発の特急小川町行きに乗り、経過時間を確かめ、10:15 小川町に到着。直ちにタクシーで見学コースに選んだ埼玉県伝統工芸会館に赴き、併設の道の駅の売店などの所要時間を計測して、「晴雲酒造」の蔵に向かいましたが、ご子息の健太郎さんは外出中でお会い出来ませんでした。食事場所である『永徳屋』に立ち寄って見ると、定休日の看板が出ていて店は休みでした。二月十一日は祝日である。翌日、

『永徳屋』に電話で「祝日はお休みですか」と問い合わせると、「昨日は月曜日で定休日御座います」という、念のため二月十一日に伺うというので、「営業しておりますのでどうぞ」という返事を聞いて安心しました。

「晴雲」の健太郎さんに見学会の予定表を送ると、程なく先方から「お料理はどうでしょうか？」と電話があった。黙って頼めば、鮪の刺身などが出る東京の料理で、地元の料理で頼めば、川魚中心の昔風の料理が頂けると言われたので、皆さんも多分好まれるだろうと、地元の料理を頂くようお願いしました。「又、お土産に金箔入りのお酒を付けるとありましたが、金箔入りはお酒でなく、焼酎です」というので、吟醸酒の四合瓶に変えて頂くことにしました。その後もう一度、参加人員と、蔵到着の予定時間の再確認の電話を頂きました。